

隊員通信

山本 恵子 (観光地域づくり支援)



昨年のスノーシューの様子

東御に来てから、毎年冬は湯の丸高原へスノーシューに行っています。湯の丸高原は冬でもお天気の時空が真っ青で、雪とのコントラストも美しく、歩いていてとっても気持ちがいい! スノーシューは初めてでも楽しめます。せっかく近くに素晴らしいフィールドがあるので、挑戦してみたいか? (一社)信州とうみ観光協会では、ガイド付きスノーシュー体験(1月9日からの土日祝)のご予約受付中! ガイドの皆さんは、夏は池の平湿原や湯の丸高原を案内している湯の丸高原ネイチャーマイスターさん。ガイド付きだと安心して楽しめますし、動物の足跡や花芽など、冬ならではの自然の見どころを教えてください。この冬、地元の魅力を再発見してみませんか?

山中 朗子 (介護予防支援)

80代のおばあちゃんのご自宅を訪問し、左足に腰からくるしびれがあるので椅子に座ってできる体操を一緒に行いました。お話を伺うと、50代から腰痛に悩まされ、農閑期になると通院していたとのこと。『ぶどう農家は、腕や足腰を痛めている人が多い。皆そうやってぶどうを作ってきたの』。美味しいぶどうが食卓に届くまでにこうした背景があったなんて、思ってもみないことでした。後日ご連絡した所、「腰のこわばりが楽になる体操」を毎日続けて下さっていて、『この体操をすると歩くのが楽になるのよ』と嬉しそうに話されました。日頃の取組みに磨きをかけ、「農家の方のからだのケアにお役に立ちたい」という想いを新たにしました。



出張講座伺います♪(グループや1名も可)

水間 源 (スポーツ振興支援)

家族で東御に移住して1年10ヶ月が経ちました。少しずつですが、【東御の魅力】を感じる活動へ参加しています。湯の丸高原の高地トレーニング施設も世界に誇れる魅力の一つですが、子供と参加している「里山探検」も自然環境の魅力を発揮した活動だと感じています。

また、今年度からは「市民まちづくり会議」に参加しています。その中で「各人が思う東御の魅力」について質問してみました。結果として千差万別の魅力を聞くことができましたが、東御を地元を持つ参加者は顔つきが険しくなり考え込んでしまう場面もありました。

少し昔を思い出し、考えることで、普段の生活で誇りに思う【東御の魅力】がたくさんあると思います。私も皆様との

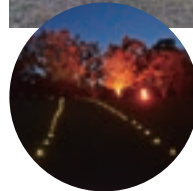
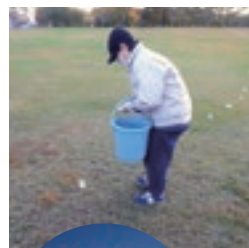


市民まちづくり会議の様子

の対話を楽しみながら【東御の魅力】を発見して、今後もスポーツ振興を通じた【東御の魅力】を発信していきたいと思っています。

発見!こんなところで活動しています

藤井 幸子 (文化振興支援)



ライトアップの準備をしている藤井隊員

10月30日~11月1日まで行われた「火のアートフェスティバル 2020 登り窯焼成」。藤井隊員が200個のLEDを使って、駐車場から登り窯へ向かう真っ暗な芝生広場をライトアップ! とても幻想的でした! 焼成ボランティアとして大山隊員も参加していました。



薪をくべる大山隊員(右)

上園 美千代、鈴木 清香

(スポーツ振興支援)

秋晴れの暖かい日に、東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会主催のイベント「里山フェスティバル」が芸術むら公園で行われました。バザーや木工工作、ピザ焼き・火おこし体験などに約300名が訪れ、大盛況!! スポーツ係の上園隊員・鈴木隊員が子どもたちと楽しみながら、受付や運営をサポートしていました。



編集担当・地域おこし協力隊 杉田